

病院からの通所のメリット

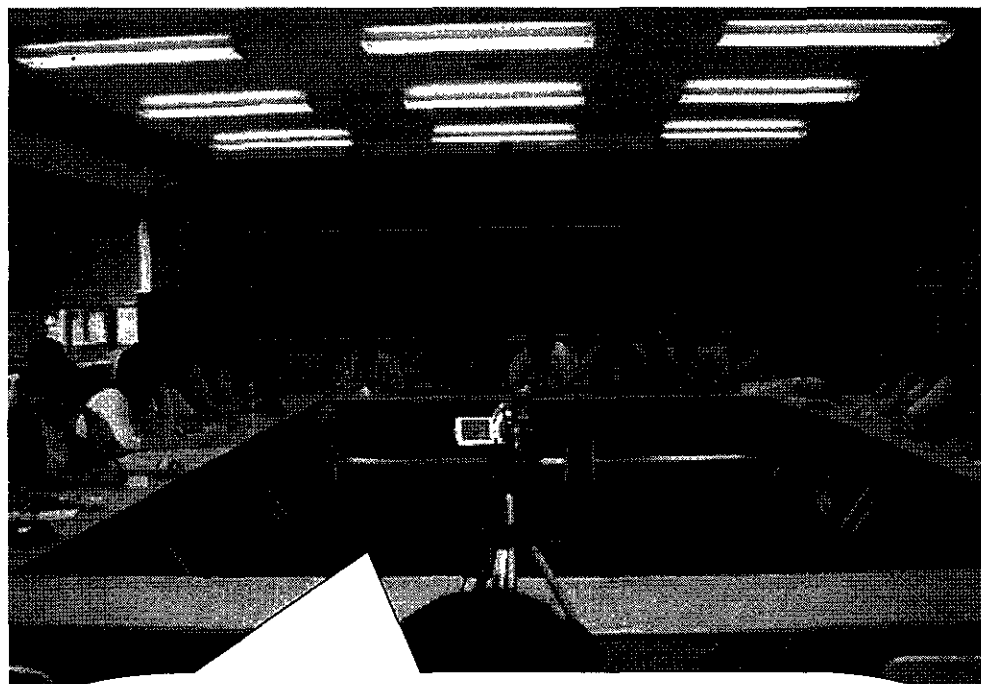
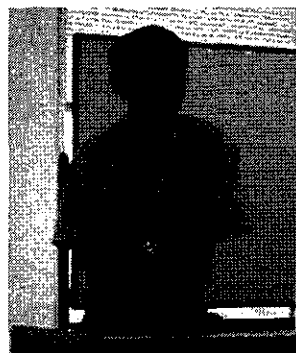
- 1 本人も少しずつ慣れてきて自信がつく
- 2 病院や家族が安心する
- 3 事業所側では一度に多くの対象者を持てる
- 4 本人も日々の目標・仲間が持てる
- 5 自分たちに課題を与えられることで本人自身が変わってくる

ピアサポートの意味

- 1 当事者からの話は受け容れやすい
- 2 病院関係者が当事者の力を再認識する
- 3 当事者がエンパワメントされる
- 4 支援される側から支援者へと支援の輪が広がる
- 5 担い手の数が増える

アウトリーチ 出張講演

退院を経て、現在地域生活をしている巣立ち会のメンバーおよびスタッフが病院の病棟に出向き、入院患者さんと病棟の職員さんに対して自己の体験談や具体的な情報についてお話します。



**メンバーが積極的に
講演に出かけます。**



病院との連携

- 病院の立場を理解する
 - 忙しさ、利用者への過小評価、地域に対する理解不足
- 病院に最初から多くを要求しない
- こちらの出来ることを考える
- 出来るだけ、出前サービスを行う
- 中に入れてもらえる機会は逃さず出かける
- なるべく利用者と一緒にいく
- カンファレンスを頻繁に行う
- 成功事例を作る
- 訪問看護になるべく来てもらう
- 病院職員にもエンパワしてもらう
 - 結果として病院職員の意識を変える

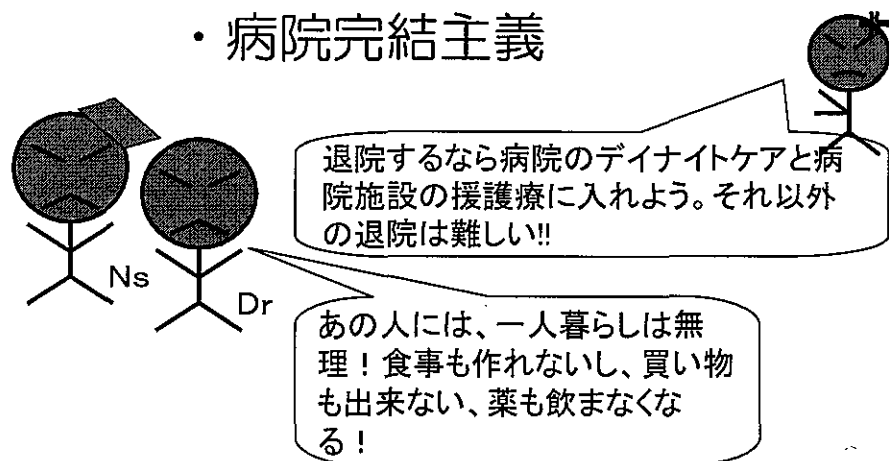
家族に対して

- 20歳過ぎて退院時に家族に引取りを迫るのは酷
- 家族にも生活がある
- 家族に責任や負担を求めない
- 一旦家族の精神的負担を肩代わりする
- 再発入院時に必要なときの同意だけは担保する
- 本人が安定すれば自然に良い関係が必ず復活する

長期入院者の退院促進を妨げている問題

1 医療関係者の誤った認識

- ・ 当事者の能力への過小評価
- ・ 病院完結主義

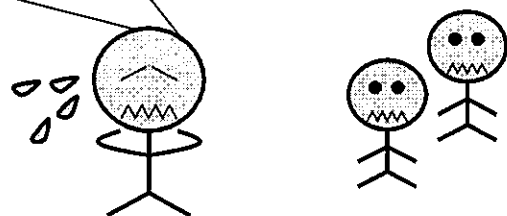


2 本人・家族の抵抗



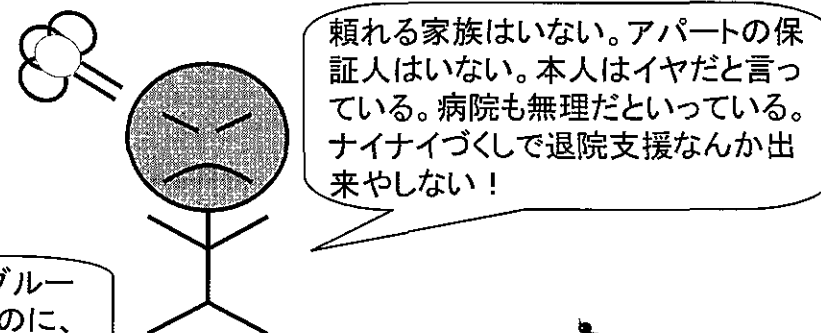
3 地域との連携の問題

グループホームも援護療も一杯で退院させるところはない! まったく資源が足りない!



病院は全然退院を勧めてこない! グループホームも空いている部屋があるのに、何故相談してこないのかしら?

4 退院先確保の困難さ



平成17・18・19年度の退院者の現状

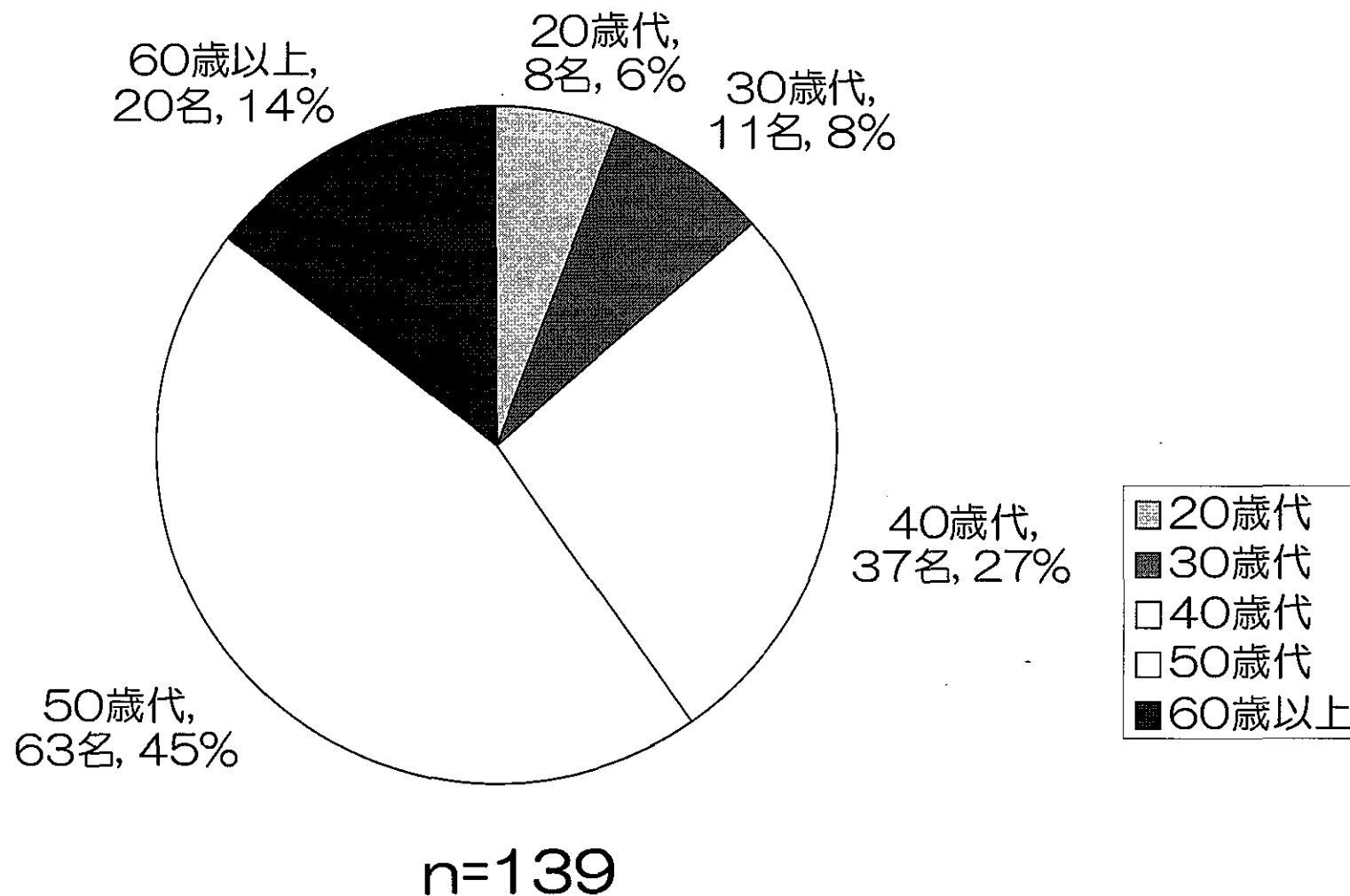
		H17年度	H18年度	H19年度
対象者		41名	50名	48名
退院者		17名	24名	13名
中断者		1名	9名	3名
退 院 者	平均年齢	48.8歳	51.0歳	48.5歳
	男女比	13:4	17:7	8:5
	平均入院期間	4373日	3671日	3313日
	退院までの期間	7.8ヶ月	6.1ヶ月	12.8ヶ月
	生活保護受給者	10名	15名	6名

H20.3.31現在

巣立ち会を利用して退院した
利用者139名についての分析

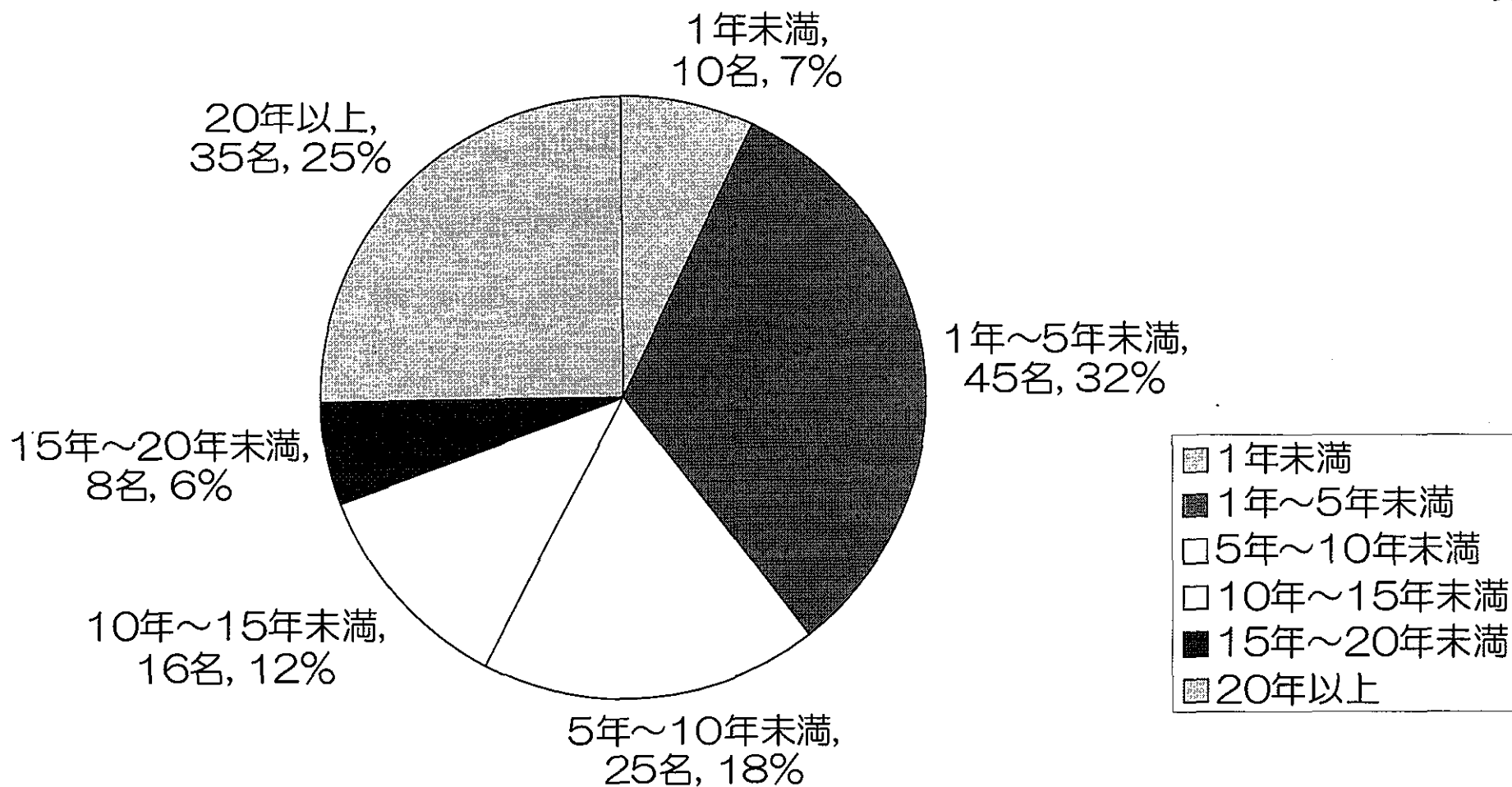
利用開始時の年齢層

2008.03.31 現在



総入院期間

2008.03.31 現在



n=139